

《教育目標》 求め 鍛え 高め合う

教育の動向

新学習指導要領の全面实施

- (1) 「生きる力」という理念の共有
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (3) 思考力・判断力・表現力等の育成
- (4) 確かな学力を確立するために必要な授業時数の確保
- (5) 学習意欲の向上や学習習慣の確立
- (6) 豊かな心や健やかな体の育成のための指導の充実 (→徳育や体育の充実)

生徒の実態 (よさ:○ 課題:●)

- 教えられたことを素直に受けとめ、意欲的に追究する姿が多い。
- 2・3人での活動が多い。また、声が小さく、全体に伝える意識が低い。
- 理解に曖昧さがあってもそのままにしてしまうなど、課題解決に向けてたくましく追究し続ける姿に弱さがある。
- 仲間と共によりよい見方や考え方、表現を求めて学び合う意識に弱さがある

願う生徒の姿 『自分の考えを積極的に表出し、仲間との学び合いを通して考えを深める姿』

東白川中学校には、「幼い頃から一緒に生活してきたからこそ分かり合える」という支持的な風土がある。その反面、既成事実にとらわれ、自分の限界を簡単に決めてしまったり、仲間と立場の異なる考えを話すことに躊躇したりする姿もある。グローバル化が一層進む現代社会を生きていくためには、仲間との関わりの中で自分の考えを積極的に表出し、お互いに尊重し合いながらよりよく生きようとするのが、積極的に社会参画して社会の中で自分を生かすことにつながると思う。

研究主題

学び合いを通して、『豊かな学力』を身に付ける生徒の育成
～主体的な追究を生み出す学習指導の工夫・改善～

研究仮説

知的好奇心を高める課題を提示し、課題に対する自分の考えを説明する「話し合い活動」を中心にした学習過程を仕組めば、主体的な追究によって見方や考え方の深まりや変容を実感し、『豊かな学力』を身に付けることができる。

研究内容

